

社会貢献支援財団、
第2回「こども読書推進賞」の受賞者を発表

～ 1校、1団体、1個人の計3組が受賞～

社会貢献支援財団（会長・猪熊葉子）は、第2回「こども読書推進賞」の受賞者を発表した。

同財団は日本財団の支援の下、社会の各分野で顕著な功績を上げられた方を表彰する社会貢献者表彰を行っているが、その新分野として、こどもたちの読書習慣の定着と向上を進めた功績を表彰する「こども読書推進賞」を昨年度に設置した。

第2回となる今回は、昨年12月25日までに寄せられた222件の推薦の中から、中野区立桃園第三小学校PTAサークル親子読書会、哲西町立野馳小学校、川平 栄子さんの、計3組の受賞が決定した。副賞の「日本財団賞」として、受賞者の活動に関わる図書館に50万円相当の図書が贈られる。

同財団ではこの賞が、ささやかながらでも、こどもたちの読書習慣の向上の一助となることを期待している。

なお、表彰式典は11月15日（月）に、東京全日空ホテルにて行われる。

< 第2回「こども読書推進賞」受賞者 >

なかのくりつちももぞのなだいさんしょうがっこう P T Aサークルおやこどくしよかい （東京都中野区）

てっせいちやうりつちのちしょうがっこう （岡山県阿哲郡哲西町）

かびら えいこさん （沖縄県那覇市）

（ プロファイルは別紙 ）

< 「平成16年度 社会貢献者表彰」の概要 >

- ・ 推薦募集 平成15年10月1日～15年12月25日
- ・ 推薦件数 222件
- ・ 受賞件数 3件
- ・ 副 賞 日本財団賞（50万円相当分の図書を活動先の図書館へ寄贈）

< 報道関係のお問い合わせ先 >

社会貢献支援財団 TEL03(3502)0910 東京都港区虎ノ門1-15-16 海洋船舶ビル〒105-0001
お問い合わせ：事務局

< 社会貢献支援財団と「こども読書推進賞」について >

社会貢献支援財団（FESCO）は、昭和 46（1971）年設立以来、日本財団の支援の下、社会の各分野で顕著な功績を挙げられながら、社会的に報われる機会の少ない方を対象に、その貢献に感謝して労をねぎらうため、社会貢献者表彰事業を行っています。これまでの 33 年間の表彰件数累計は、11,583 件に上っています。すでに受賞されている方たちにつきましては、財団のウェブサイト (<http://www.fesco.or.jp/>) をご覧下さい。

この社会貢献者表彰の新分野として、当財団では平成 15 年度より「こども読書推進賞」を設けました。現在、こどもたちの読書離れ、活字離れには深刻なものがあります。経済協力開発機構（OECD）の調査によれば、我が国児童の読書率は、先進国の中で低位であることが明らかになっており、一方、文部科学省の調査によれば、蔵書基準を満たしている学校図書館は公立小学校で 34.8%、中学校で 29.0%に過ぎません。

このような状況に鑑み、児童・生徒の読書習慣の定着と向上に積極的な活動を行っている全国各地の小・中学校、団体等に「こども読書推進賞」を贈り、その読書推進活動を支援することがこの賞の目的です。

候補者のご推薦は、個人・団体を問わず広く一般からいただき、選考は学識経験者で構成される選考委員会が行います。候補者は、こども（小・中学生）の読書推進に積極的な活動を 1 年以上行い、顕著な成果を挙げている学校、団体、グループ、個人。ただし、その活動に関係のある小・中学校図書館を持つことを前提とします。副賞として受賞者の活動に関わる小・中学校図書室・図書館に、50 万円相当の図書が贈呈されます。図書の選定は受賞者が行います。

〔選考委員〕

猪熊 葉子 （聖心女子大学 名誉教授、社会貢献支援財団 会長）
大倉 明 （産経新聞社 編集局次長）
坂本 忠雄 （元「新潮」編集長）
中島 健一郎 （毎日新聞社 取締役）
三浦 朱門 （選考委員長 / 作家、日本芸術院会員）

〔後 援〕

内閣府 総務省 外務省 文部科学省 厚生労働省 国土交通省

〔協 力〕

日本財団